

# 金武湾付近で流れの調査を実施

## 一点から面的な流れの予測に向けて

第十一管区海上保安本部では、現在、ホームページにて提供しています「潮流推算」の情報を、点から面に増強する詳細化に取り組んでいます。(資料1参照)

詳細化を進める上で必要な流れの情報を得るため、金武湾付近において、平成24年6月中旬から7月上旬の間で、流向流速計を設置し、昼夜連続で調査を実施します。また、この間、流向流速計を設置した海域周辺の流れを把握するため、測量船「おきしお」搭載の流向流速計にて、航走しながら流れの調査を実施します。(資料2、資料3参照)

「潮流推算」情報は、海上交通の安全、迅速・的確な搜索・救助及び油流出時の防除対策、海上活動における安全・安心の確保などに活用されており、詳細化することにより、更に、有効性・利便性が向上します。

## 【「潮流推算」の情報を点から面的な（格子状）ものにする詳細化】

潮流とは、潮汐の干満に伴って引き起こされる海水の水平方向の動きで、流れる向きと速さが周期的に変化します。潮流の流速は、島の間など狭い海域では速くなり、開けた湾や広い外洋では遅くなります。

沖縄は多数の島々が点在し、潮流が速くなる海域が多数存在することから、第十一管区海上保安本部では、「沖縄の海洋情報」のホームページにて、任意の時刻の流れが分かる「潮流推算」の情報を提供しています。（図1参照）

「潮流推算」とは、流向流速計を海に設置して15日間以上連続で流れの観測を行い、その観測結果から定数（「潮流調和定数」といいます。）を求め、この定数から任意の時刻における潮流の流向と流速を計算するものです。現在、潮流推算情報は、これまで流れを観測した地点のみ提供しています。（図2参照）

第十一管区海上保安本部では、「潮流推算」情報の有効性・利便性の向上を図るため、点から面的な情報提供への詳細化を進め、緯度・経度1分格子毎の潮流推算情報の提供（図3参照）に向け取り組んでいます。

※「沖縄の海洋情報」のホームページアドレス

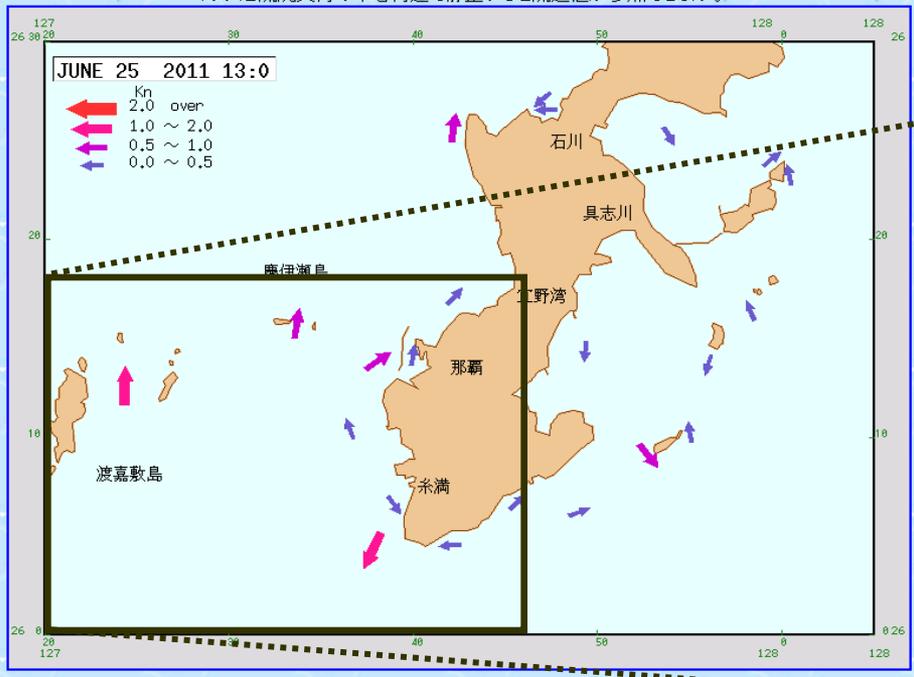
<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN11/>

図1 第十一管区海上保安本部「沖縄の海洋情報」のホームページ

# 沖縄島南部流況概要

[1時間前](#) [地図選択に戻る](#) [1時間後](#)

マウスを流速矢符の中心付近で静止すると流速値が参照できます。



2011年06月25日 13時00分

最強流速: 1.7 kn

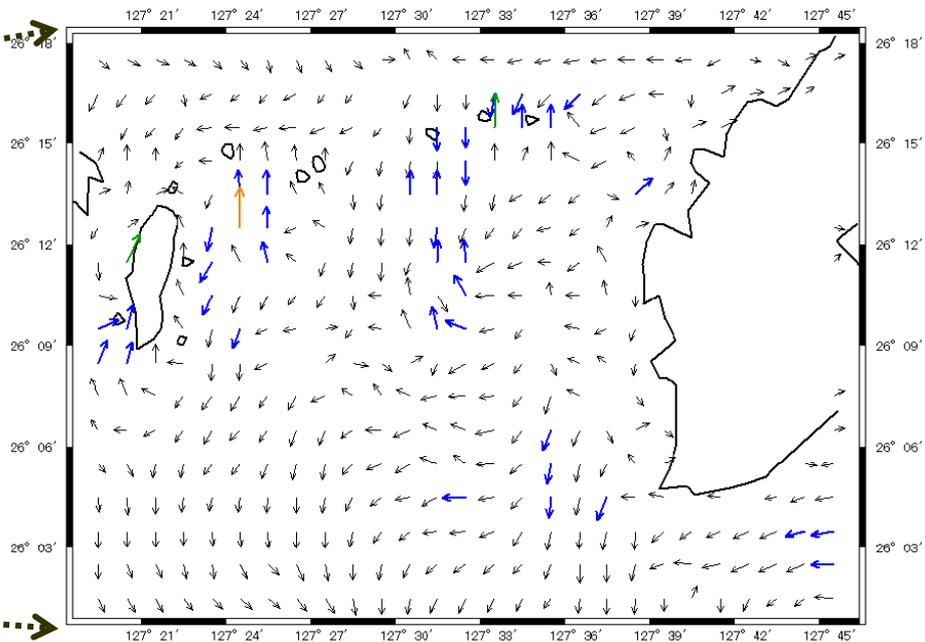
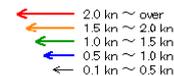
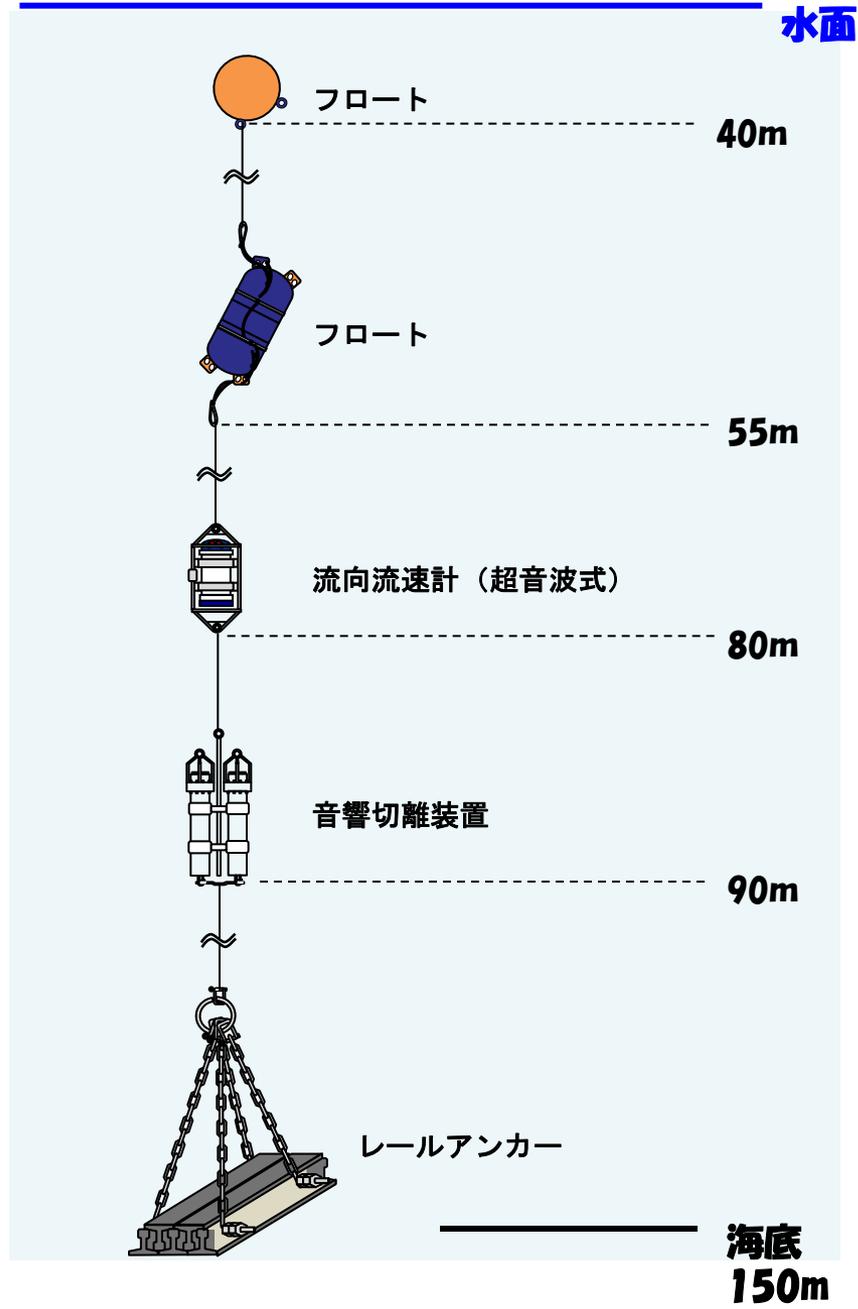


図2 現在、ホームページ掲載の「潮流推算」情報例（点の情報）

図3 作成中の緯度・経度約2 km格子での「潮流推算」情報例（面の情報）

# 【流向流速計設置方法】



# 【金武湾付近調査区域】

